

>>>> 「知財総合支援窓口」のご紹介 <<<<

県内企業の知的財産に関する相談を受け付ける「知財総合支援窓口事業」(九州経済産業局委託事業)を、平成24年度も引き続き鹿児島県発明協会内で開設しております。皆様のご利用をお待ちしております。

1 目的

知的財産に関する悩みや課題を一元的に受け入れる窓口を設置し、中小企業等が企業経営の中でノウハウも含めた知的財産活動が円滑に出来るよう、アイデア段階から事業展開までの一貫した支援を、様々な専門家や支援機関と共同で行います。

2 事業内容

- (1) 年間を通じた相談業務の実施
- (2) 常駐の知財専門家の配置
- (3) 知財専門家の中小企業等への派遣
- (4) 中小企業支援機関との連携支援
- (5) 事業の周知・広報活動

3 所在地等

住 所：鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1
(鹿児島県工業技術センター内)

電話番号：0995-73-5406(窓口担当)

受付時間：平日 8:30~17:15

>>>> 技術支援事例を知事に報告 <<<<

5月16日(水)に、当センターが技術支援を実施し、商品化等につながった2つの事例について知事に報告しました。

(有)小田畳商会は、伝統的な畳の製造技術に加え、洗える畳「洗畳」や畳表に絵柄を印刷した「ファッション畳」など新たな商品で販路開拓を図っています。

濱田酒造(株)は、明治元年の創業以来本格焼酎の製造販売を行っています。このたび、新たな焼酎原料のサツマイモ品種「薩摩優(サツママサリ)」を原料とした焼酎「黒薩摩富士」の開発を当

センターと共同研究し商品化しました。



知事報告の様子

>>>> 九州デジタルエンジニアリング研究会セミナー <<<<

6月1日(金)に、かごしま県民交流センターで九州デジタルエンジニアリング研究会セミナーを開催しました。

「やねだん」の富重哲郎氏の特別講演ののち、「デジタルエンジニアリング技術による農水工連携」に関する7テーマの発表がありました。約100名の参加者があり、活発な議論が行われました。



セミナーの様子

>>>> 特許登録 <<<<<

「静電気放電発生箇所検出方法及び検出装置」

県が平成20年8月14日に特許出願した「静電気放電発生箇所検出方法及び検出装置」が、2月24日に特許登録されました（特許第4931252号）。

本発明は、任意の被測定領域で発生した静電気放電の発生箇所と発生時刻を効率的に精度良く特定することのできる手段を提供するものです。

この発明では、可視レーザー距離計を用いた位置合わせ治具を用いることで、静電気放電を検知するための受信アンテナの設置作業や、検出した放電源の位置を高精度(数cmオーダー)で短時間(数分)に特定できるようになります。



「離床予測システム」

県が平成20年9月10日に特許出願した「離床予測システム」が、3月23日に特許登録されました（特許第4952691号）。

本発明は、複数の荷重計を用いてベッド上の重さを測定することで、ベッド利用者の体位や姿勢を推定する手段を提供するものです。

この技術を用いて、離床（ベッドを離れること）を予測するシステムを構築することで、離床する前の早い段階でナースコールを鳴らすことが可能となり、介護者が余裕を持って駆けつけることができるため、離床時の転倒を防止することができるようになります。



「低カロリーかつ低臭性のもろみ酢飲料及びその製造方法」

県とトーシン株式会社が平成19年6月1日に共同で特許出願した「低カロリーかつ低臭性のもろみ酢飲料及びその製造方法」が、4月27日に特許登録されました（特許第4979006号）。

本発明は、甘藷焼酎蒸留粕にエリスリトールを添加することで、低カロリーかつ低もろみ臭性のもろみ酢飲料のもろみ酢を製造する手段を提供するものです。

この技術を用いて、甘藷焼酎蒸留粕からもろみ酢を製造すると、添加したエリスリトールによりもろみ臭が改善されます。また、エリスリトールは低カロリーで自然な甘味を有することから、甘藷焼酎蒸留粕の栄養成分を活かしつつ、美味しく、嗜好性の高いもろみ酢飲料を提供できます。

